

学生確保の見通し等を記載した書類 資料

目 次

- 【資料1】北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査結果報告書・・・2頁
- 【資料2】2022年度 広報行動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35頁
- 【資料3】北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査結果報告書・42頁

北陸学院大学における新学部設置に関する
高校生アンケート調査結果

報 告 書

令和3年12月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

I アンケート調査概要	1
II アンケート集計結果	4
III 新学部学科入学意向	15
アンケート調査票	28

I アンケート調査概要

1. アンケート調査の目的

北陸学院大学では、令和5年度に新たに3学部4学科を設置する計画をしており、新学部学科への入学意向を把握するために、高校生を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査

3. 調査対象

北陸地域（石川県、富山県、福井県）、新潟県に所在する高等学校、及びキリスト教学校教育同盟加盟校の高等学校の高校2年生を対象にアンケート調査を実施した。

4. 調査実施

令和3年8月～9月に調査を実施した。（一部の高校は10月以降に回収）

5. 調査方法

事前にアンケート調査実施の協力依頼を行い、了解の得られた高等学校に対して郵送及び訪問によるアンケート調査票の配布及び回収を大学が行い、集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。なお、1校のみWebアンケートにより回答を回収した。

6. 回収状況

回収校数 78 校 回収票数 8,522 票（回収表はP.2～P.3 参照）

北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査

回収表

回収日	区分 code	区分	高校 code	高等学校名	ナンバリング		回収数
9.17	1	石川県	1	小松大谷高等学校	1383	1505	123
9.02	1	石川県	2	小松高等学校	1	147	147
9.06	1	石川県	3	鶴来高等学校	148	258	111
10.11	1	石川県	4	松任高等学校	6551	6573	23
8.27	1	石川県	5	翠星高等学校	259	295	37
9.21	1	石川県	6	小松市立高等学校	1506	1645	140
9.06	1	石川県	7	野々市明倫高等学校	296	529	234
9.13	1	石川県	8	金沢市立工業高等学校	530	759	230
9.21	1	石川県	9	金沢辰巳丘高等学校	1646	1711	66
9.03	1	石川県	10	遊学館高等学校	5027	5375	349
9.29	1	石川県	11	金沢高等学校	4610	4922	313
9.13	1	石川県	12	金沢龍谷高等学校	760	903	144
10.25	1	石川県	13	星稜高等学校	7887	8062	176
9.01	1	石川県	14	金沢錦丘高等学校	904	975	72
9.13	1	石川県	15	金沢泉丘高等学校	976	1015	40
9.22	1	石川県	16	金沢泉丘高等学校（通信）	1712	1783	72
9.01	1	石川県	17	金沢二水高等学校	1016	1382	367
9.16	1	石川県	18	金沢桜丘高等学校	1784	1932	149
9.09	1	石川県	19	金沢西高等学校	2992	3248	257
9.21	1	石川県	20	金沢中央高等学校	1933	1997	65
9.06	1	石川県	21	金沢伏見高等学校	3249	3450	202
9.27	1	石川県	22	金沢商業高等学校	4359	4609	251
9.24	1	石川県	23	石川県立工業高等学校	4923	5026	104
9.03	1	石川県	24	金沢北陵高等学校	3451	3525	75
10.21	1	石川県	25	金沢向陽高等学校	8063	8120	58
10.11	1	石川県	26	津幡高等学校	6489	6550	62
10.29				津幡高等学校（追加）	8121	8145	25
9.01	1	石川県	27	鵬学園高等学校	3526	3692	167
9.29	1	石川県	28	宝達高等学校	5685	5707	23
9.27	1	石川県	29	鹿西高等学校	5570	5684	115
9.01	1	石川県	30	田鶴浜高等学校	3693	3726	34
9.09	1	石川県	31	飯田高等学校	3727	3821	95
9.13	1	石川県	32	大聖寺実業高等学校	3822	3906	85
9.09	1	石川県	33	大聖寺高等学校	3907	4050	144
9.01	1	石川県	34	加賀高等学校	4051	4063	13
9.03	1	石川県	35	アットマーク国際高等学校	5562	5569	8
9.22	1	石川県	36	穴水高等学校	1998	2022	25
9.14	1	石川県	37	門前高等学校	2023	2036	14
9.29	1	石川県	38	志賀高等学校	5529	5561	33
9.01	1	石川県	39	能登高等学校	4064	4117	54
9.09	1	石川県	40	日本航空高等学校石川	4118	4158	41
9.24	2	富山県	41	入善高等学校	5376	5528	153
未	2	富山県	42	富山西高等学校			
9.21	2	富山県	43	八尾高等学校	2037	2110	74
9.22	2	富山県	44	龍谷富山高等学校	2111	2129	19
10.06	2	富山県	45	富山国際大学付属高等学校	6574	6722	149
9.06	2	富山県	46	新川高等学校	4159	4242	84
10.05	2	富山県	47	小杉高等学校	6723	6758	36
10.18	2	富山県	48	伏木高等学校	8146	8247	102
10.20	2	富山県	49	志貴野高等学校	8248	8321	74

回収日	区分 code	区分	高校 code	高等学校名	ナンバリング		回収数
9.22	2	富山県	50	砺波高等学校	7713	7886	174
11.26	2	富山県	51	呉羽高等学校	8452	8522	71
9.01	2	富山県	52	大門高等学校	4243	4279	37
10.15	2	富山県	53	南砺福野高等学校	6759	6902	144
9.22	2	富山県	54	高岡第一高等学校	2130	2222	93
10.13	2	富山県	55	魚津工業高等学校	6903	7045	143
9.15	2	富山県	56	中央農業高等学校	2223	2261	39
9.21	3	福井県	57	北陸高等学校	2262	2399	138
9.24	3	福井県	58	福井南高等学校	6117	6181	65
9.01	3	福井県	59	大野高等学校	4280	4306	27
9.13	3	福井県	60	鯖江高等学校	4307	4334	28
9.13	3	福井県	61	武生商業高等学校	4335	4358	24
10.12	3	福井県	62	坂井高等学校	7046	7070	25
9.24	3	福井県	63	星槎国際 福井	6097	6116	20
9.17	4	新潟県	64	新潟産業大学附属高等学校	2400	2530	131
10.12	4	新潟県	65	新潟第一高等学校	7071	7355	285
9.16	6	キ同盟等	66	東北学院高等学校	2531	2661	131
9.14	6	キ同盟等	67	会津北嶺高等学校	2662	2745	84
10.04	6	キ同盟等	68	新島学園高等学校	7356	7519	164
9.16	6	キ同盟等	69	東京純心女子高等学校	2746	2796	51
9.21	6	キ同盟等	70	カリタス女子高等学校	2797	2953	157
9.29	6	キ同盟等	71	九州学院高等学校	5797	6096	300
10.05	2	富山県	72	氷見高等学校	7520	7555	36
9.21	2	富山県	73	石動高等学校	2954	2991	38
10.01	2	富山県	74	砺波工業高等学校	7556	7575	20
10.12	1	石川県	75	寺井高等学校	7576	7599	24
11.10	6	キ同盟等	76	香里ヌヴェール学院高等学校	8322	8451	130
9.29	6	キ同盟等	77	聖心ウルスラ学園高等学校	5708	5796	89
10.07	3	福井県	78	羽水高等学校	7600	7699	100
9.03	1	石川県	79	北陸学院高等学校	6182	6488	307
10.11				北陸学院高等学校(追加)	7700	7712	13
78校					計		8522

回収状況

高校所在地	校数	票数
石川県	42	5,087
富山県	18	1,486
福井県	8	427
新潟県	2	416
キ同盟等※	8	1,106
計	78	8,522

※キ同盟等：キリスト教同盟校及びカトリック校

Ⅱ アンケート集計結果

「北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査」有効回答票：8,522 票

問1 あなたの居住地についてお尋ねします。

回答者の居住地は、「石川県」が 58.9% (5,022 件) で最も多く、約 6 割の回答者は石川県内居住者である。このほか、「富山県」17.3% (1,471 件)、「福井県」5.0% (425 件)、「新潟県」4.8% (411 件) などとなっている。

	件数	%
1 石川県	5,022	58.9
2 富山県	1,471	17.3
3 福井県	425	5.0
4 新潟県	411	4.8
5 長野県	17	0.2
6 その他	1,119	13.1
不明	57	0.7
合計	8,522	100.0

(「6 その他」の回答)

熊本県	277	福島県	78	関西	1
群馬県	145	愛知県	5	三重県	1
大阪府	128	埼玉県	5	滋賀県	1
宮城県	127	京都府	3	石川県	1
東京都	107	兵庫県	2	東京都、大阪府	1
神奈川県	91	奈良県	2	栃木県	1
宮崎県	82	和歌山県	1		1

問2 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

高校卒業後の進路について尋ねたところ、「大学進学（専門職大学含む）」が66.1%（5,631件）で最も多く、回答者の3分の2が大学進学を希望している。大学進学以外では、「就職」が13.8%（1,173件）で2番目に多く、「専門学校進学」が12.3%（1,050件）が続いている。「短期大学進学（専門職短期大学含む）」は4.8%（410件）となっている。

	件数	%
1 大学進学（専門職大学含む）	5,631	66.1
2 短期大学進学（専門職短期大学含む）	410	4.8
3 専門学校進学	1,050	12.3
4 就職	1,173	13.8
5 その他	195	2.3
不明	63	0.7
合計	8,522	100.0

（「5 その他」の回答）

未定	24	ピアニスト	1	起業	1
決まっていない。	10	フリーター	1	競輪養成所	1
決まってない。	6	プロかBCリーグ	1	経営	1
まだ決まっていない。	5	まだです。	1	決めていない。	1
留学	4	まだわからない。	1	決めれてないです。	1
まだ考えていない。	3	まだ決まっていない。検討。	1	考えている。	1
わからない。	3	まだ決まってない。	1	国公立	1
考え中	2	まだ決まらない。	1	大学進学と今の事業を続ける。	1
特に決まっていない。	2	まだ決めていない。	1	東京周辺での就職	1
悩んでいる。	2	まだ全く考えていない。	1	農業関係	1
分からない。	2	海外	1	未定です。	1
1と4で悩んでいる。	1	海外進学	1	迷っています。	1
アニメーション学院	1	海上保安	1	迷っている。	1
アニメーション学院系	1	分からない	1		

※ 問3以降は、問2で「1、2、3」のいずれかを回答された方にお聞きします。

問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

高校卒業後に大学、短期大学もしくは専門学校への進学を希望している回答者について、進学を希望する専門分野を第2希望まで尋ねたところ、第1希望では、「社会科学関係」が19.8%（1,405件）で最も多く、次いで「理学・工学・農学関係」18.5%（1,314件）となっている。このほか、「保健衛生学関係」13.8%（981件）、「人文科学関係」11.8%（839件）、「教育学・保育学関係」10.3%（731件）などが比較的多い。

第2希望では「社会科学関係」が16.0%（1,133件）で最も多く、次いで「人文科学関係」15.3%（1,087件）、「教育学・保育学関係」14.0%（992件）などとなっている。

【全体】

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 家政学関係（栄養学、食物学、生活科学、住居学、被服学など）	466	6.6	640	9.0
2 社会科学関係（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）	1,405	19.8	1,133	16.0
3 教育学・保育学関係（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	731	10.3	992	14.0
4 人文科学関係（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	839	11.8	1,087	15.3
5 理学・工学・農学関係（数学、物理学、化学、生物学、情報科学、生命科学、機械工学、電気電子工学、建築学、農学、林学、水産学など）	1,314	18.5	620	8.7
6 保健衛生学関係（看護学、理学療法学、作業療法学、臨床検査学、放射線など）	981	13.8	615	8.7
7 医学・歯学・薬学関係	346	4.9	636	9.0
8 芸術学関係（音楽、デザイン、美術など）	407	5.7	648	9.1
9 その他	545	7.7	232	3.3
不明	57	0.8	488	6.9
合計	7,091	100.0	7,091	100.0

次に、高校卒業後の進路として「大学進学（専門職大学含む）」と回答した回答者（以下、「大学進学希望者」という。）に絞って進学希望分野の回答結果をみると、第1希望では「社会科学関係」が23.1%（1,301件）で最も多く、約4分の1を占めている。また、「理学・工学・農学関係」も20.9%（1,176件）と2割以上を占めている。このほか、「人文科学関係」14.3%（806件）、「保健衛生学関係」13.4%（753件）、「教育学・保育学関係」10.1%（569件）などとなっている。

第2希望では、「社会科学関係」が17.5%（987件）で最も多く、次いで「人文科学関係」17.2%（969件）、「教育学・保育学関係」14.0%（787件）などとなっている。

【大学進学希望者】※問2で「1 大学進学（専門職大学含む）」と回答した回答者

	第1希望		第2希望	
	件数	%	件数	%
1 家政学関係（栄養学、食物学、生活科学、住居学、被服学など）	277	4.9	452	8.0
2 社会科学関係（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）	1,301	23.1	987	17.5
3 教育学・保育学関係（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	569	10.1	787	14.0
4 人文科学関係（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	806	14.3	969	17.2
5 理学・工学・農学関係（数学、物理学、化学、生物学、情報科学、生命科学、機械工学、電気電子工学、建築学、農学、林学、水産学など）	1,176	20.9	512	9.1
6 保健衛生学関係（看護学、理学療法学、作業療法学、臨床検査学、放射線など）	753	13.4	512	9.1
7 医学・歯学・薬学関係	286	5.1	529	9.4
8 芸術学関係（音楽、デザイン、美術など）	222	3.9	434	7.7
9 その他	198	3.5	147	2.6
不明	43	0.8	302	5.4
合計	5,631	100.0	5,631	100.0

（「9 その他」の回答）

第1希望			
美容	53	介護福祉	1
スポーツ	22	看護福祉	1
美容師	15	観光	1
ブライダル	10	観光、ブライダル	1
美容系	10	観光、国際	1
トリマー	7	観光学	1
製菓	7	技術	1
スポーツ関係	6	救命救急	1
医療事務	6	競輪養成所	1
美容関係	6	経済、経営	1
未定	6	芸術工学	1
国際関係	5	芸能	1
体育学	5	芸能、声優関係	1
動物	5	芸能マネージャー	1
美容、理容	5	芸能活動	1
スポーツ学	4	決まってません。	1

体育系	4	健康、スポーツ	1
動物看護	4	健康福祉	1
動物関係	4	語学関係、美容関係	1
スポーツ系	3	公務員	1
自動車整備	3	公務員(事務系)	1
社会福祉	3	公務員事務系	1
獣医学	3	考え中です	1
声優	3	航空宇宙工学	1
体育	3	航空関係	1
福祉	3	航空系	1
理容、美容	3	航空操縦学	1
ウェディング	2	国際関係など	1
スポーツトレーナー	2	国際教養	1
ブライダルプランナー	2	国際教養学	1
まだ決まっていない。	2	国際商学	1
介護	2	自動車	1
国際学	2	自動車整備士	1
国際学部	2	社会福祉(介護)	1
国際系	2	社会福祉系	1
司書	2	社会福祉士	1
地域創造	2	柔道整復師	1
美専	2	柔道整復師的なの	1
美容理容	2	獣医、獣医看護学	1
理美容	2	獣医学(動物看護師)	1
理容美容	2	消防学校	1
映像	2	情報、Youtube	1
TV関係	1	情報学	1
アニメやゲームなど	1	食事	1
アメリカの大学で航空	1	人間科学	1
イベント	1	声を使う仕事	1
ウエディングプランナー	1	声優、タレント、アニメーション	1
エステ	1	声優、ナレーター	1
エステティシャン	1	製菓、動物	1
エステティシャン、メイクアップアーティスト	1	製菓、美容	1
キャビンアテンダント	1	総合学	1
ゲーム	1	体育・スポーツ系	1
ゲームのプログラミング	1	体育学関係	1
ゲームプログラミング	1	体育学部	1
サッカー選手	1	体育専門、スポーツ	1
スポーツ、健康	1	調理	1
スポーツ、体	1	調理、製菓	1
スポーツ、体育	1	調理系	1
スポーツに関わること。	1	調理師	1
スポーツに関係のある大学	1	都市デザイン	1
スポーツ科学	1	動物(トリマー)	1
スポーツ学科	1	動物(ペット)	1
スポーツ系、体育系	1	動物、トリマー	1
スポーツ系のところ	1	動物、ペット	1
スポーツ健康	1	動物看護学	1
スポーツ健康、スポーツマネジメント	1	動物専門	1
スポーツ健康学部	1	美容、ファッション	1
ソフトウェアプログラミング	1	美容、ヘアメイク	1
ドッグトレーナー	1	美容、メイク	1
トリマー、ペットショップ、美容	1	美容、メイク、ウエディングプランナー	1
ビジネス関係(いろいろ)	1	美容、理容、美容部員	1
ファッション	1	美容、理容系	1
ブライダル、ウエディング	1	美容・理容	1
ブライダル、ネイリスト	1	美容科	1
ブライダル、美容	1	美容学	1

ブライダル科	1	美容師、ブライダル	1
ブライダル関係	1	美容師、ホテル・ブライダル	1
プログラム関係	1	美容師、理容師等	1
プロゴルファー	1	美容専門学校	1
ペット、トリマーなど	1	美容理容学校	1
ペット、美容	1	美容理容専門学校	1
ペットトリマー	1	美容・理容関係	1
ペット総合学科	1	病棟クラーク	1
ホテル、ブライダル	1	服飾系	1
まだわからない	1	福祉(介護・老人ホーム等)	1
まだ考えていない。	1	福祉、介護	1
マッサージ師(柔道福祉士)	1	仏教学部	1
メイク	1	分からない。決めてない。	1
リハビリ、公務員	1	文理融合	1
医療	1	保安	1
映像関係	1	放送系	1
映像編集	1	理・美容	1
英語関係の仕事	1	理美容関係	1
音響	1	理容	1
化粧	1	理容、美容、ブライダル	1
何も決まっていない。	1	理容・美容	1
介護関係	1	理容・美容系、ブライダル系	1
介護士	1	理容美容関係	1
調理師免許が取れるところ。他にもそれぞれの食べ物(中華、フランス、製菓)が学べたり、資格が得られるところ。			
第2希望			
美容	11	環境学	1
観光学	5	警察学校	1
スポーツ	4	芸能の専門的知識	1
公務員	3	工場	1
スポーツ学、体育学	2	考え中	1
スポーツ系	2	航海学	1
製菓	2	事務系	1
福祉	2	消防	1
福祉系	2	心理学	1
アニメ	1	人間社会学域	1
アニメーション、映像	1	水産	1
ウェディングプランナー	1	生物	1
ウエディングプランナー	1	体育学関係	1
ゲーム実況者	1	第二希望はない。職に関わることで妥協はしない。	1
ジム	1	調理	1
スポーツ、体育	1	調理、製菓	1
スポーツトレーナー	1	天文学	1
スポーツマネジメント	1	動物	1
スポーツ科学	1	動物看護	1
スポーツ科学部	1	動物系	1
スポーツ健康科学、バイオメカニクス学	1	特に決まっていない。	1
スポーツ健康化学	1	美・理容	1
健康、スポーツ、体育学関係	1	美術	1
ペットトリマー	1	美容・理容	1
ホテル、ブライダル	1	美容師	1
まだわからない	1	服飾	1
ユーチューバー	1	保育系のみです。	1
リハビリ士	1	融合	1
医療事務	1	陸上自衛隊	1
映像	1	歴史学	1
音響	1	環境をよりよくすることができる学問	1
音響学	1		

問4 あなたは北陸学院大学の各学部学科について受験したいと思いますか。

北陸学院大学の改組後の3学部4学科について、それぞれ受験の意向を尋ねた結果が以下の通りである。

① 健康科学部栄養学科

健康科学部栄養学科を「受験したい」と回答したのは3.6% (254件)、「受験を検討する」と回答したのは8.5% (601件)であり、合計すると、12.1% (855件)が受験に関心を示している。

「受験しない」は85.2% (6,039件)である。

次に、大学進学希望者についてみると、「受験したい」は3.4% (191件)、「受験を検討する」は8.9% (500件)であり、12.3% (691件)が受験に関心を示している。

【全体】

	件数	%
1 受験したい	254	3.6
2 受験を検討する	601	8.5
3 受験しない	6,039	85.2
不明	197	2.8
合計	7,091	100.0

【大学進学希望者】

	件数	%
1 受験したい	191	3.4
2 受験を検討する	500	8.9
3 受験しない	4,802	85.3
不明	138	2.5
合計	5,631	100.0

② 社会学部社会学科

社会学部社会学科を「受験したい」と回答したのは3.9% (280件)、「受験を検討する」と回答したのは11.8% (836件)であり、合計すると、15.7% (1,116件)が受験に関心を示している。「受験しない」は81.6% (5,787件)である。

次に、大学進学希望者についてみると、「受験したい」は4.5% (256件)、「受験を検討する」は13.2% (745件)であり、17.7% (1,001件)が受験に関心を示している。

【全体】

	件数	%
1 受験したい	280	3.9
2 受験を検討する	836	11.8
3 受験しない	5,787	81.6
不明	188	2.7
合計	7,091	100.0

【大学進学希望者】

	件数	%
1 受験したい	256	4.5
2 受験を検討する	745	13.2
3 受験しない	4,506	80.0
不明	124	2.2
合計	5,631	100.0

③ 教育学部幼児教育学科

教育学部幼児教育学科を「受験したい」と回答したのは2.7%（191件）、「受験を検討する」と回答したのは7.7%（549件）であり、合計すると、10.4%（740件）が受験に関心を示している。「受験しない」は86.6%（6,142件）である。

次に、大学進学希望者についてみると、「受験したい」は2.7%（150件）、「受験を検討する」は7.7%（436件）であり、10.4%（586件）が受験に関心を示している。

【全体】			【大学進学希望者】		
	件数	%		件数	%
1 受験したい	191	2.7	1 受験したい	150	2.7
2 受験を検討する	549	7.7	2 受験を検討する	436	7.7
3 受験しない	6,142	86.6	3 受験しない	4,891	86.9
不明	209	2.9	不明	154	2.7
合 計	7,091	100.0	合 計	5,631	100.0

④ 教育学部初等中等教育学科

教育学部初等中等教育学科を「受験したい」と回答したのは1.9%（135件）、「受験を検討する」と回答したのは8.0%（564件）であり、合計すると、9.9%（699件）が受験に関心を示している。「受験しない」は86.9%（6,163件）である。

次に、大学進学希望者についてみると、「受験したい」は2.2%（124件）、「受験を検討する」は8.8%（493件）であり、11.0%（617件）が受験に関心を示している。

【全体】			【大学進学希望者】		
	件数	%		件数	%
1 受験したい	135	1.9	1 受験したい	124	2.2
2 受験を検討する	564	8.0	2 受験を検討する	493	8.8
3 受験しない	6,163	86.9	3 受験しない	4,860	86.3
不明	229	3.2	不明	154	2.7
合 計	7,091	100.0	合 計	5,631	100.0

※ 問5は、問4の①～④のいずれかで「1 受験したい」もしくは「2 受験を検討する」を回答した方にお聞きます。

問5（1）北陸学院大学のいずれかの学部学科を受験して合格した場合、入学したいと思いますか。

北陸学院大学のいずれかの学部学科を受験して合格した場合の入学意向について尋ねたところ、「入学したい」と回答したのは16.8%（318件）であり、「併願先の結果によっては入学したい」と回答したのは81.3%（1,544件）となっている。

大学進学希望者についてみると、「入学したい」は15.6%（249件）であり、「併願先の結果によっては入学したい」は82.5%（1,316件）となっている。

【全体】			【大学進学希望者】		
	件数	%		件数	%
1 入学したい	318	16.8	1 入学したい	249	15.6
2 併願先の結果によっては入学したい	1,544	81.3	2 併願先の結果によっては入学したい	1,316	82.5
不明	36	1.9	不明	30	1.9
合計	1,898	100.0	合計	1,595	100.0

問5（2）あなたが入学したい学部学科を1つだけ選んでください。

3学部4学科の中で入学したい学部学科は、「社会学部社会学科」が40.5%（769件）で最も多く、次いで「健康科学部栄養学科」は26.8%（509件）、「教育学部幼児教育学科」は16.9%（321件）、「教育学部初等中等教育学科」は14.0%（265件）となっている。

大学進学希望者では、「社会学部社会学科」が44.1%（704件）で最も多く、次いで「健康科学部栄養学科」は24.8%（395件）、「教育学部初等中等教育学科」は15.6%（249件）、「教育学部幼児教育学科」は13.7%（218件）となっている。

【全体】			【大学進学希望者】		
	件数	%		件数	%
1 健康科学部栄養学科	509	26.8	1 健康科学部栄養学科	395	24.8
2 社会学部社会学科	769	40.5	2 社会学部社会学科	704	44.1
3 教育学部幼児教育学科	321	16.9	3 教育学部幼児教育学科	218	13.7
4 教育学部初等中等教育学科	265	14.0	4 教育学部初等中等教育学科	249	15.6
不明	34	1.8	不明	29	1.8
合計	1,898	100.0	合計	1,595	100.0

次に、問5（1）の入学意向の回答別に、入学したい学部学科の回答結果をみると、北陸学院大学に「入学したい」と回答した回答者については、「社会学部社会学科」が36.8%（117件）で最も多く、「健康科学部栄養学科」が34.0%（108件）で続いている。「教育学部幼児教育学科」は19.2%（61件）、「教育学部初等中等教育学科」は9.7%（31件）となっている。

北陸学院大学への入学について「併願先の結果によっては入学したい」と回答した回答者については、「社会学部社会学科」が42.2%（652件）で最も多く、「健康科学部栄養学科」は26.0%（401件）、「教育学部幼児教育学科」は16.6%（257件）、「教育学部初等中等教育学科」は15.2%（234件）となっている。

【全体】

問5（1） 北陸学院大学 入学意向		問5（2） 入学したい学部学科					合 計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	不 明	
入学したい	件数	108	117	61	31	1	318
	%	34.0	36.8	19.2	9.7	0.3	100.0
併願先の結果によ っては入学したい	件数	401	652	257	234	0	1,544
	%	26.0	42.2	16.6	15.2	0.0	100.0
不 明	件数	0	0	3	0	33	36
	%	0.0	0.0	8.3	0.0	91.7	100.0
合 計	件数	509	769	321	265	34	1,898
	%	26.8	40.5	16.9	14.0	1.8	100.0

大学進学希望者についてみると、北陸学院大学に「入学したい」と回答した回答者については、「社会学部社会学科」が41.8%（104件）で最も多く、「健康科学部栄養学科」は29.7%（74件）、「教育学部幼児教育学科」は16.9%（42件）、「教育学部初等中等教育学科」は11.2%（28件）となっている。

北陸学院大学への入学について「併願先の結果によっては入学したい」と回答した回答者については、「社会学部社会学科」が45.6%（600件）で最も多く、「健康科学部栄養学科」は24.4%（321件）、「教育学部初等中等教育学科」は16.8%（221件）、「教育学部幼児教育学科」は13.2%（174件）、となっている。

【大学進学希望者】

問5(1) 北陸学院大学 入学意向		問5(2) 入学したい学部学科					合 計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	不 明	
入学したい	件数	74	104	42	28	1	249
	%	29.7	41.8	16.9	11.2	0.4	100.0
併願先の結果によ っては入学したい	件数	321	600	174	221	0	1,316
	%	24.4	45.6	13.2	16.8	0.0	100.0
不 明	件数	0	0	2	0	28	30
	%	0.0	0.0	6.7	0.0	93.3	100.0
合 計	件数	395	704	218	249	29	1,595
	%	24.8	44.1	13.7	15.6	1.8	100.0

Ⅲ 新学部学科入学意向

(1) 健康科学部栄養学科

健康科学部栄養学科（以下、「栄養学科」という。）の入学希望者数について、アンケート調査結果から考察する。

北陸学院大学を受験し合格した場合（問5（1））に「入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「健康科学部栄養学科」と回答した者は**108人**である。また、合格した場合（問5（1））に「併願先の結果によっては入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「健康科学部栄養学科」と回答した者は**401人**である（P.13参照）。

このことから、栄養学科の入学希望者は**108人**であり、併願先の結果により入学する可能性のある者が**401人**いることになり、栄養学科の入学定員65人を超える入学希望者がいると考えることができる。

しかし、これらの回答者の中には、高校卒業後の希望進路が大学以外の者が含まれていたり、進学を希望する専門分野として栄養学科とは異なる専門分野を回答している回答者も含まれている。また、栄養学科の受験について「受験しない」と回答している回答者も含まれていることから、さらに精査する必要がある。以下では、高校卒業後の進路（問2）として、「大学進学（専門職大学を含む）」と回答した回答者（大学進学希望者）に限定し、栄養学科の入学希望者について考察する。

栄養学科は、学問体系として「家政学関係」に該当する。大学進学希望者のうち、進学したいと考えている分野（問3）において「家政学関係」と回答したのは**729人**（第1希望277人、第2希望452人）である（P.7参照）。

この**729人**について、栄養学科の受験意向（問4①）の回答結果をみると、「受験したい」が**103人**、「受験を検討する」が**168人**である。

「家政学関係」を希望する大学進学希望者(729人)の栄養学科受験意向(問4①)の回答

	1 受験したい	2 受験を検討する	3 受験しない	不明	合計
「家政学関係」 希望者	103	168	436	22	729

次に、栄養学科を「受験したい」と回答した**103人**及び「受験を検討する」と回答した**168人**について、北陸学院大学を受験し合格した場合の入学意向（問5（1））及び入学したい学部学科（問5（2））の回答結果をまとめたものが以下の表である。

栄養学科受験希望者(103人)・検討者(168人)の北陸学院大学入学意向(問5(1)及び入学したい学部学科(問5(2))の回答

問4① 栄養学科 受験意向	問5(1) 北陸学院大学 入学意向	問5(2) 入学したい学部学科					合計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	不明	
受験したい (103人)	入学したい	36	3	2	0	0	41
	併願先の結果によ っては入学したい	46	7	2	1	0	56
	不明	0	0	1	0	5	6
受験を検討 する (168人)	入学したい	15	7	1	0	0	23
	併願先の結果によ っては入学したい	92	28	10	10	0	140
	不明	0	0	0	0	5	5

以上の結果を整理すると、栄養学科の入学希望者を次の4つの区分に整理することができる。

区分	アンケート回答結果	考 察
区分1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・家政学関係を希望し、かつ ・栄養学科の受験を希望し、かつ ・北陸学院大学への入学を希望し、かつ ・栄養学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、栄養学科を第1志望と考えている可能性が高く、入学希望者と考えられる。 回答者数:36人</p>
区分2	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・家政学関係を希望し、かつ ・栄養学科の受験を検討し、かつ ・北陸学院大学への入学を希望し、かつ ・栄養学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、栄養学科の受験を検討中であり、合格したら栄養学科への入学を希望する、という回答者である。アンケート回答時点(令和3年9月頃)では、受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高く、区分1に次いで栄養学科へ入学する可能性が高いと考えられる。 回答者数:15人</p>
区分3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・家政学関係を希望し、かつ ・栄養学科の受験を希望し、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は栄養学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、栄養学科の受験を希望し、合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。栄養学科を第1志望以外に考えている可能性が高いが、受験する意思はあり、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性が高いと考えられる。 回答者数:46人</p>

区分4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・家政学関係を希望し、かつ ・栄養学科の受験を検討し、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は栄養学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、栄養学科の受験を検討中であり、受験し合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。栄養学科を第1志望以外に考えている可能性が高く、またアンケート回答時点(令和3年9月頃)では受験について意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では栄養学科に入学する可能性があると考えられる。</p> <p>回答者数:92人</p>
-----	--	---

今回のアンケート調査結果から栄養学科の入学希望者について考えると、区分1に該当する回答者(36人)は入学する可能性が最も高く、入学希望者と想定できよう。

区分2に該当する回答者(15人)は、高校2年生の9月頃の段階で栄養学科を受験するかどうか決めていないが、受験し合格した場合は、栄養学科に入学する意思を持っている回答者である。高校2年生の後半あるいは高校3年生になってから受験先を決定すると考えられることから、今後、少しでも多くの者を栄養学科の受験に導くことができれば、入学希望者につなげることができる。高校2年生の後半以降に受験先を決める高校生も多いことから、区分2に該当する回答者(15人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分3に該当する回答者(46人)は、栄養学科を受験する意思は持っているが、栄養学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者であり、他大学を第1志望に考えている可能性が高い。栄養学科は第1志望以外という位置付けになるが、受験の意思はあることから、併願先の結果が希望通りにならなければ、栄養学科へ入学する可能性は高いと考えられる。一般的に、いわゆる偏差値がトップクラスの大学を除けば、当該大学を第1志望以外としていた者が何割かは入学する。北陸学院大学の既設の学部学科においても同様の傾向がみられるとすれば、区分3に該当する回答者(46人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分4に該当する回答者(92人)は、高校2年生の9月頃の段階で栄養学科を受験するかどうか決めておらず、また、栄養学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者である。他大学を第1志望に考えている可能性が高く、栄養学科の受験については今後判断するものと考えられる。併願先の結果が希望通りにならなければ、栄養学科へ入学する可能性も出てくることから、区分4に該当する回答者(92人)のうち少しでも多くの者を栄養学科の受験に導くことができれば、その一部は入学希望者になると考えられる。

(2) 社会学部社会学科

社会学部社会学科（以下、「社会学科」という。）の入学希望者数について、アンケート調査結果から考察する。

北陸学院大学を受験し合格した場合（問5（1））に「入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「社会学部社会学科」と回答した者は117人である。また、合格した場合（問5（1））に「併願先の結果によっては入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「社会学部社会学科」と回答した者は652人である（P.13参照）。

このことから、社会学科の入学希望者は117人であり、併願先の結果により入学する可能性のある者が652人いることになり、社会学科の入学定員95人を超える入学希望者がいると考えることができる。

しかし、これらの回答者の中には、高校卒業後の希望進路が大学以外の者が含まれていたり、進学を希望する専門分野として社会学科とは異なる専門分野を回答している回答者も含まれている。また、社会学科の受験について「受験しない」と回答している回答者も含まれていることから、さらに精査する必要がある。以下では、高校卒業後の進路（問2）として、「大学進学（専門職大学を含む）」と回答した回答者（大学進学希望者）に限定し、社会学科の入学希望者について考察する。

社会学科は、学問体系として「社会科学関係」に該当する。大学進学希望者のうち、進学したいと考えている分野（問3）において「社会科学関係」と回答したのは2,288人（第1希望1,301人、第2希望987人）である（P.7参照）。

この2,288人について、社会学科の受験意向（問4②）の回答結果をみると、「受験したい」が191人、「受験を検討する」が476人である。

「社会科学関係」を希望する大学進学希望者(2,288人)の社会学科受験意向(問4②)の回答

	1 受験したい	2 受験を検討する	3 受験しない	不明	合計
「社会科学関係」 希望者	191	476	1,595	26	2,288

次に、社会学科を「受験したい」と回答した191人及び「受験を検討する」と回答した476人について、北陸学院大学を受験し合格した場合の入学意向（問5（1））及び入学したい学部学科（問5（2））の回答結果をまとめたものが以下の表である。

社会学科受験希望者(191人)・検討者(476人)の北陸学院大学入学意向(問5(1)及び入学したい学部学科(問5(2))の回答

問4② 社会学科 受験意向	問5(1) 北陸学院大学 入学意向	問5(2) 入学したい学部学科					合計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	不明	
受験したい (191人)	入学したい	8	48	1	1	0	58
	併願先の結果によ っては入学したい	7	120	3	2	0	132
	不明	0	0	0	0	1	1
受験を検討 する (476人)	入学したい	6	33	1	2	0	42
	併願先の結果によ っては入学したい	36	344	18	28	0	426
	不明	0	0	0	0	8	8

以上の結果を整理すると、社会学科の入学希望者を次の4つの区分に整理することができる。

区分	アンケート回答結果	考 察
区分1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・社会科学関係を希望し、かつ ・社会学科の受験を希望し、かつ ・北陸学院大学への入学を希望し、かつ ・社会学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、社会学科を第1志望と考えている可能性が高く、入学希望者と考えられる。 回答者数:48人</p>
区分2	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・社会科学関係を希望し、かつ ・社会学科の受験を検討し、かつ ・北陸学院大学への入学を希望し、かつ ・社会学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、社会学科の受験を検討中であり、合格したら社会学科への入学を希望する、という回答者である。アンケート回答時点(令和3年9月頃)では、受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高く、区分1に次いで社会学科へ入学する可能性が高いと考えられる。 回答者数:33人</p>
区分3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・社会科学関係を希望し、かつ ・社会学科の受験を希望し、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は社会学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、社会学科の受験を希望し、合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。社会学科を第1志望以外に考えている可能性が高いが、受験する意思はあり、併願先の結果次第では社会学科に入学する可能性が高いと考えられる。 回答者数:120人</p>

区分4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・社会科学関係を希望し、かつ ・社会学科の受験を検討し、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は社会学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、社会学科の受験を検討中であり、受験し合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。社会学科を第1志望以外に考えている可能性が高く、またアンケート回答時点(令和3年9月頃)では受験について意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では社会学科に入学する可能性があると考えられる。</p> <p>回答者数:344人</p>
-----	---	--

今回のアンケート調査結果から社会学科の入学希望者について考えると、区分1に該当する回答者(48人)は入学する可能性が最も高く、入学希望者と想定できよう。

区分2に該当する回答者(33人)は、高校2年生の9月頃の段階で社会学科を受験するかどうか決めていないが、受験し合格した場合は、社会学科に入学する意思を持っている回答者である。高校2年生の後半あるいは高校3年生になってから受験先を決定すると考えられることから、今後、少しでも多くの者を社会学科の受験に導くことができれば、入学希望者につなげることができる。高校2年生の後半以降に受験先を決める高校生も多いことから、区分2に該当する回答者(33人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分3に該当する回答者(120人)は、社会学科を受験する意思は持っているが、社会学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者であり、他大学を第1志望に考えている可能性が高い。社会学科は第1志望以外という位置付けになるが、受験の意思はあることから、併願先の結果が希望通りにならなければ、社会学科へ入学する可能性は高いと考えられる。一般的に、いわゆる偏差値がトップクラスの大学を除けば、当該大学を第1志望以外としていた者が何割かは入学する。北陸学院大学の既設の学部学科においても同様の傾向がみられるとすれば、区分3に該当する回答者(120人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分4に該当する回答者(344人)は、高校2年生の9月頃の段階で社会学科を受験するかどうか決めておらず、また、社会学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者である。他大学を第1志望に考えている可能性が高く、社会学科の受験については今後判断するものと考えられる。併願先の結果が希望通りにならなければ、社会学科へ入学する可能性も出てくることから、区分4に該当する回答者(344人)のうち少しでも多くの者を社会学科の受験に導くことができれば、その一部は入学希望者になると考えられる。

(3) 教育学部幼児教育学科

教育学部幼児教育学科（以下、「幼児教育学科」という。）の入学希望者数について、アンケート調査結果から考察する。

北陸学院大学を受験し合格した場合（問5（1））に「入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「教育学部幼児教育学科」と回答した者は**61人**である。また、合格した場合（問5（1））に「併願先の結果によっては入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「教育学部幼児教育学科」と回答した者は**257人**である（P.13参照）。

このことから、幼児教育学科の入学希望者は**61人**であり、併願先の結果により入学する可能性のある者が**257人**いることになり、幼児教育学科の入学定員45人を超える入学希望者がいると考えることができる。

しかし、これらの回答者の中には、高校卒業後の希望進路が大学以外の者が含まれていたり、進学を希望する専門分野として幼児教育学科とは異なる専門分野を回答している回答者も含まれている。また、幼児教育学科の受験について「受験しない」と回答している回答者も含まれていることから、さらに精査する必要がある。以下では、高校卒業後の進路（問2）として、「大学進学（専門職大学を含む）」と回答した回答者（大学進学希望者）に限定し、幼児教育学科の入学希望者について考察する。

幼児教育学科は、学問体系として「教育学・保育学関係」に該当する。大学進学希望者のうち、進学したいと考えている分野（問3）において「教育学・保育学関係」と回答したのは**1,356人**（第1希望569人、第2希望787人）である（P.7参照）。

この**1,356人**について、幼児教育学科の受験意向（問4③）の回答結果をみると、「受験したい」が**100人**、「受験を検討する」が**236人**である。

「教育学・保育学関係」を希望する大学進学希望者(1,356人)の幼児教育学科受験意向(問4③)の回答

	1 受験したい	2 受験を検討する	3 受験しない	不明	合計
「教育学・保育学関係」 希望者	100	236	997	23	1,356

次に、幼児教育学科を「受験したい」と回答した**100人**及び「受験を検討する」と回答した**236人**について、北陸学院大学を受験し合格した場合の入学意向（問5（1））及び入学したい学部学科（問5（2））の回答結果をまとめたものが以下の表である。

幼児教育学科受験希望者(100人)・検討者(236人)の北陸学院大学入学意向(問5(1)及び入学したい学部学科(問5(2))の回答

問4③ 幼児教育学科 受験意向	問5(1) 北陸学院大学 入学意向	問5(2) 入学したい学部学科					合計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学科	4 教育学部 初等中等教育学科	不明	
受験したい (100人)	入学したい	0	0	25	7	0	32
	併願先の結果によっては入学したい	3	4	47	13	0	67
	不明	0	0	0	0	1	1
受験を検討する (236人)	入学したい	6	6	11	10	0	33
	併願先の結果によっては入学したい	21	28	85	64	0	198
	不明	0	0	0	0	5	5

以上の結果を整理すると、幼児教育学科の入学希望者を次の4つの区分に整理することができる。

区分	アンケート回答結果	考 察
区分1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・幼児教育学科の<u>受験を希望し</u>、かつ ・北陸学院大学への<u>入学を希望し</u>、かつ ・幼児教育学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、幼児教育学科を第1志望と考えている可能性が高く、入学希望者と考えられる。</p> <p>回答者数:25人</p>
区分2	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・幼児教育学科の<u>受験を検討し</u>、かつ ・北陸学院大学への<u>入学を希望し</u>、かつ ・幼児教育学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、幼児教育学科の受験を検討中であり、合格したら幼児教育学科への入学を希望する、という回答者である。アンケート回答時点(令和3年9月頃)では、受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高く、区分1に次いで幼児教育学科へ入学する可能性が高いと考えられる。</p> <p>回答者数:11人</p>
区分3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・幼児教育学科の<u>受験を希望し</u>、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は幼児教育学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、幼児教育学科の受験を希望し、合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。幼児教育学科を第1志望以外に考えている可能性が高いが、受験する意思はあり、併願先の結果次第では幼児教育学科に入学する可能性が高いと考えられる。</p> <p>回答者数:47人</p>

区分4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・幼児教育学科の<u>受験を検討し</u>、かつ ・北陸学院大学<u>入学は併願先の結果次第</u>、かつ ・入学の場合は幼児教育学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、幼児教育学科の受験を検討中であり、受験し合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。幼児教育学科を第1志望以外に考えている可能性が高く、またアンケート回答時点(令和3年9月頃)では受験について意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では幼児教育学科に入学する可能性があると考えられる。</p> <p>回答者数:85人</p>
-----	--	---

今回のアンケート調査結果から幼児教育学科の入学希望者について考えると、区分1に該当する回答者(25人)は入学する可能性が最も高く、入学希望者と想定できよう。

区分2に該当する回答者(11人)は、高校2年生の9月頃の段階で幼児教育学科を受験するかどうか決めていないが、受験し合格した場合は、幼児教育学科に入学する意思を持っている回答者である。高校2年生の後半あるいは高校3年生になってから受験先を決定すると考えられることから、今後、少しでも多くの者を幼児教育学科の受験に導くことができれば、入学希望者につなげることができる。高校2年生の後半以降に受験先を決める高校生も多いことから、区分2に該当する回答者(11人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分3に該当する回答者(47人)は、幼児教育学科を受験する意思は持っているが、幼児教育学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者であり、他大学を第1志望に考えている可能性が高い。幼児教育学科は第1志望以外という位置付けになるが、受験の意思はあることから、併願先の結果が希望通りにならないければ、幼児教育学科へ入学する可能性は高いと考えられる。一般的に、いわゆる偏差値がトップクラスの大学を除けば、当該大学を第1志望以外としていた者が何割かは入学する。北陸学院大学の既設の学部学科においても同様の傾向がみられるとすれば、区分3に該当する回答者(47人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分4に該当する回答者(85人)は、高校2年生の9月頃の段階で幼児教育学科を受験するかどうか決めておらず、また、幼児教育学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者である。他大学を第1志望に考えている可能性が高く、幼児教育学科の受験については今後判断するものと考えられる。併願先の結果が希望通りにならないければ、幼児教育学科へ入学する可能性も出てくることから、区分4に該当する回答者(85人)のうち少しでも多くの者を幼児教育学科の受験に導くことができれば、その一部は入学希望者になると考えられる。

(4) 教育学部初等中等教育学科

教育学部初等中等教育学科（以下、「初等中等教育学科」という。）の入学希望者数について、アンケート調査結果から考察する。

北陸学院大学を受験し合格した場合（問5（1））に「入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「教育学部初等中等教育学科」と回答した者は**31**人である。また、合格した場合（問5（1））に「併願先の結果によっては入学したい」と回答し、入学したい学科（問5（2））として「教育学部初等中等教育学科」と回答した者は**234**人である（P.13 参照）。

このことから、初等中等教育学科の入学希望者は**31**人であり、併願先の結果により入学する可能性のある者が**234**人いることになり、初等中等教育学科の入学定員25人を超える入学希望者がいると考えることができる。

しかし、これらの回答者の中には、高校卒業後の希望進路が大学以外の者が含まれていたり、進学を希望する専門分野として初等中等教育学科とは異なる専門分野を回答している回答者も含まれている。また、初等中等教育学科の受験について「受験しない」と回答している回答者も含まれていることから、さらに精査する必要がある。以下では、高校卒業後の進路（問2）として、「大学進学（専門職大学を含む）」と回答した回答者（大学進学希望者）に限定し、初等中等教育学科の入学希望者について考察する。

初等中等教育学科は、学問体系として「教育学・保育学関係」に該当する。大学進学希望者のうち、進学したいと考えている分野（問3）において「教育学・保育学関係」と回答したのは**1,356**人（第1希望569人、第2希望787人）である（P.7 参照）。

この**1,356**人について、初等中等教育学科の受験意向（問4④）の回答結果をみると、「受験したい」が**73**人、「受験を検討する」が**289**人である。

「教育学・保育学関係」を希望する大学進学希望者(1,356人)の幼児教育学科受験意向(問4④)の回答

	1 受験したい	2 受験を検討する	3 受験しない	不明	合計
「教育学・保育学関係」 希望者	73	289	966	28	1,356

次に、初等中等教育学科を「受験したい」と回答した**73**人及び「受験を検討する」と回答した**289**人について、北陸学院大学を受験し合格した場合の入学意向（問5（1））及び入学したい学部学科（問5（2））の回答結果をまとめたものが以下の表である。

初等中等教育学科受験希望者(73人)・検討者(289人)の北陸学院大学入学意向(問5(1)及び入学したい学部学科(問5(2))の回答

問4④ 初等中等教育学科 受験意向	問5(1) 北陸学院大学 入学意向	問5(2) 入学したい学部学科					合 計
		1 健康科学部 栄養学科	2 社会学部 社会学科	3 教育学部 幼児教育学 科	4 教育学部 初等中等教 育学科	不 明	
受験したい (73人)	入学したい	0	0	4	15	0	19
	併願先の結果によ っては入学したい	1	2	7	42	0	52
	不 明	0	0	0	0	2	2
受験を検討 する (289人)	入学したい	3	7	17	9	0	36
	併願先の結果によ っては入学したい	21	40	54	134	0	249
	不 明	0	0	0	0	4	4

以上の結果を整理すると、初等中等教育学科の入学希望者を次の4つの区分に整理することができる。

区分	アンケート回答結果	考 察
区分1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・初等中等教育学科の<u>受験を希望し</u>、かつ ・北陸学院大学への<u>入学を希望し</u>、かつ ・初等中等教育学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、初等中等教育学科を第1志望と考えている可能性が高く、入学希望者と考えられる。</p> <p>回答者数:15人</p>
区分2	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・初等中等教育学科の<u>受験を検討し</u>、かつ ・北陸学院大学への<u>入学を希望し</u>、かつ ・初等中等教育学科への入学を希望する。 	<p>該当する回答者は、初等中等教育学科の受験を検討中であり、合格したら初等中等教育学科への入学を希望する、という回答者である。アンケート回答時点(令和3年9月頃)では、受験について意思決定をしていないが、受験し合格したら入学する可能性が高く、区分1に次いで初等中等教育学科へ入学する可能性が高いと考えられる。</p> <p>回答者数:9人</p>
区分3	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・初等中等教育学科の<u>受験を希望し</u>、かつ ・北陸学院大学入学は<u>併願先の結果次第</u>、かつ ・入学の場合は初等中等教育学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、初等中等教育学科の受験を希望し、合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。初等中等教育学科を第1志望以外に考えている可能性が高いが、受験する意思はあり、併願先の結果次第では初等中等教育学科に入学する可能性が高いと考えられる。</p> <p>回答者数:42人</p>

区分4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を希望し、かつ ・教育学・保育学関係を希望し、かつ ・初等中等教育学科の受験を検討し、かつ ・北陸学院大学入学は併願先の結果次第、かつ ・入学の場合は初等中等教育学科を希望する。 	<p>該当する回答者は、初等中等教育学科の受験を検討中であり、受験し合格した場合、併願先の結果によっては入学を希望する、という回答者である。初等中等教育学科を第1志望以外に考えている可能性が高く、またアンケート回答時点(令和3年9月頃)では受験について意思決定をしていないが、受験する可能性はあり、受験し合格すれば、併願先の結果次第では初等中等教育学科に入学する可能性があると考えられる。</p> <p>回答者数:134人</p>
-----	--	--

今回のアンケート調査結果から初等中等教育学科の入学希望者について考えると、区分1に該当する回答者(15人)は入学する可能性が最も高く、入学希望者と想定できよう。

区分2に該当する回答者(9人)は、高校2年生の9月頃の段階で初等中等教育学科を受験するかどうか決めていないが、受験し合格した場合は、初等中等教育学科に入学する意思を持っている回答者である。高校2年生の後半あるいは高校3年生になってから受験先を決定すると考えられることから、今後、少しでも多くの者を初等中等教育学科の受験に導くことができれば、入学希望者につなげることができる。高校2年生の後半以降に受験先を決める高校生も多いことから、区分2に該当する回答者(9人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分3に該当する回答者(42人)は、初等中等教育学科を受験する意思は持っているが、初等中等教育学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者であり、他大学を第1志望に考えている可能性が高い。初等中等教育学科は第1志望以外という位置付けになるが、受験の意思はあることから、併願先の結果が希望通りにならなければ、初等中等教育学科へ入学する可能性は高いと考えられる。一般的に、いわゆる偏差値がトップクラスの大学を除けば、当該大学を第1志望以外としていた者が何割かは入学する。北陸学院大学の既設の学部学科においても同様の傾向がみられるとすれば、区分3に該当する回答者(42人)のうち一定割合については、入学希望者と想定することも可能と考えられる。

区分4に該当する回答者(134人)は、高校2年生の9月頃の段階で初等中等教育学科を受験するかどうか決めておらず、また、初等中等教育学科への入学は併願先の結果次第と考えている回答者である。他大学を第1志望に考えている可能性が高く、初等中等教育学科の受験については今後判断するものと考えられる。併願先の結果が希望通りにならなければ、初等中等教育学科へ入学する可能性も出てくることから、区分4に該当する回答者(134人)のうち少して

も多くの者を初等中等教育学科の受験に導くことができれば、その一部は入学希望者になると考えられる。

北陸学院大学における新学部設置に関する高校生アンケート調査票

- 北陸学院大学では、2023（令和5）年度に、リーフレットに記載の通り、新たに3学部4学科を新設する計画をしています。
- このアンケート調査は、高校生の皆様の高校卒業後の進路等に関するご意見等をお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。
- なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり、他の目的のために使用することはありません。

北陸学院大学新学部学科（設置構想中）の概要 ※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- 【学部・学科名（入学定員） 取得可能な資格・免許】
- 健康科学部栄養学科（65人）管理栄養士、栄養士、栄養教諭、食品衛生管理者・食品衛生監視員
- 社会学部社会学科（95人）社会調査士、公認心理師、認定心理士、司書、社会福祉士
- 教育学部幼児教育学科（45人）幼稚園教諭、保育士
- 教育学部初等中等教育学科（25人）小学校教諭、中学校教諭（英語）、高等学校教諭（英語）

- 【開設時期】 2023（令和5）年4月
- 【所在地】 石川県金沢市三小牛町イ11番地 JR金沢駅より路線バスで約30分。
※スクールバスあり（金沢駅－平和町－大学、小松駅－白山市松任文化会館－西金沢駅－大学）

【北陸学院大学と近隣大学同系学部学科の学費】 ※2021年8月現在の情報です。
（栄養系）

大学名	学部学科名	入学金	授業料等	初年度合計	4年間累計
北陸学院大学	健康科学部栄養学科	200,000円	1,280,000円	1,480,000円	5,320,000円
金沢学院大学	栄養学部栄養学科	200,000円	1,280,000円	1,480,000円	5,320,000円
仁愛大学	人間生活学部健康栄養学科	250,000円	960,000円	1,210,000円	4,840,000円
新潟医療福祉大学	健康科学部健康栄養学科	350,000円	1,500,000円	1,850,000円	6,350,000円

（社会学系）

大学名	学部学科名	入学金	授業料等	初年度合計	4年間累計
北陸学院大学	社会学部社会学科	200,000円	1,020,000円	1,220,000円	4,280,000円
北陸大学	国際コミュニケーション学部心理社会学科	200,000円	1,100,000円	1,300,000円	4,600,000円
富山国際大学	現代社会学部現代社会学科	200,000円	980,000円	1,180,000円	4,120,000円

（教育学系）

大学名	学部学科名	入学金	授業料等	初年度合計	4年間累計
北陸学院大学	教育学部幼児教育学科	200,000円	1,120,000円	1,320,000円	4,680,000円
北陸学院大学	教育学部初等中等教育学科	200,000円	1,120,000円	1,320,000円	4,680,000円
金沢学院大学	教育学部教育学科	200,000円	1,120,000円	1,320,000円	4,680,000円
金沢星稜大学	人間科学部こども学科	120,000円	1,110,000円	1,230,000円	4,560,000円
富山国際大学	子ども育成学部子ども育成学科	200,000円	1,030,000円	1,230,000円	4,320,000円
松本大学	教育学部学校教育学科	250,000円	1,150,000円	1,400,000円	4,850,000円

【回答欄】

問1 あなたの居住地についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 石川県
- 2 富山県
- 3 福井県
- 4 新潟県
- 5 長野県
- 6 その他（具体的に）

問2 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大学進学（専門職大学含む）
 - 2 短期大学進学（専門職短期大学含む）
 - 3 専門学校進学
 - 4 就職
 - 5 その他（具体的に）
- } 問3以下へお進みください
- } これでアンケートは終わりです

（裏面に続く）

※ 問3以降は、問2で「1、2、3」のいずれかを回答された方にお聞きします。

問3 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第2希望まで**選んでください。

- 1 家政学関係（栄養学、食物学、生活科学、住居学、被服学など）
- 2 社会科学関係（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）
- 3 教育学・保育学関係（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）
- 4 人文科学関係（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）
- 5 理学・工学・農学関係（数学、物理学、化学、生物学、情報科学、生命科学、機械工学、電気電子工学、建築学、農学、林学、水産学など）
- 6 保健衛生学関係（看護学、理学療法学、作業療法学、臨床検査学、放射線など）
- 7 医学・歯学・薬学関係
- 8 芸術学関係（音楽、デザイン、美術など）
- 9 その他（具体的に

第1希望

第2希望

問4 あなたは北陸学院大学の各学部学科について受験したいと思いますか。学部学科ごとに、以下の【選択肢】から**1つだけ**選んでください。

① 健康科学部栄養学科

② 社会学部社会学科

③ 教育学部幼児教育学科

④ 教育学部初等中等教育学科

【選択肢】 1 受験したい 2 受験を検討する 3 受験しない

※ 問5は、問4の①～④のいずれかで「1 受験したい」もしくは「2 受験を検討する」を回答した方にお聞きします。（問4の①～④すべてで「3 受験しない」を回答した方は、これでアンケートは終わりです。）

問5（1） 北陸学院大学のいずれかの学部学科を受験して合格した場合、入学したいと思いますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 入学したい
- 2 併願先の結果によっては入学したい

問5（2） あなたが入学したい学部学科を**1つだけ**選んでください。

- 1 健康科学部栄養学科
- 2 社会学部社会学科
- 3 教育学部幼児教育学科
- 4 教育学部初等中等教育学科

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

2022（令和4）年度 広報行動計画

アドミッションセンター
広報プロジェクトチーム

I	本学を取り巻く環境	1
1	新型コロナウイルス感染症による広報の在り方について	
2	石川県の18歳人口動向について	
3	石川県高校別入学者数	
4	競合他校の状況	
II	入学者・非入学者アンケート調査からの検証	1～2
1	入学者アンケート及び非入学者アンケート分析レポートによる結論・課題	
III	情報誌及びWEB資料請求数（中間報告）からの検証	2
IV	WEBページ集客状況報告（中間報告）からの検証	2
V	オープンキャンパスからの検証	3
1	オープンキャンパスアンケート調査（中間報告）	
2	オープンキャンパス参加者集計表（最終）	
VI	大学等改組に関する高校生アンケート調査の検証	3
VII	2021（令和3）年度広報行動計画の検証（まとめ）	3～4
VIII	2022（令和4）年度 広報行動計画について	4～6
1	ブランディングイメージの統一化と大学等改組（新学部設置）の周知	
2	コマーシャルメッセージ（CM）の作成	
3	大学案内の作成	
4	ホームページ（HP）の活用	
5	オープンキャンパス実施計画	
6	進学相談会	
7	高校別 アプローチ年間行動計画の策定	
8	高校教員及び塾講師向け本学説明会	
9	2023（令和5）年度入学者選抜制度の周知及び実施	

I 本学を取り巻く環境

1 新型コロナウイルス感染症による広報の在り方について

2021（令和3）年度も、新型コロナウイルス感染症により、対面で行われる広報については、制限を余儀なくされ、困難な面が多々あった。大学の授業同様、対面とWEBの両方での対応を行い、また、感染状況により判断を要することもあった。次年度も、コロナウイルスの動向を注視しながら、状況により臨機応変に判断することを前提とし、2022（令和4）年度広報行動計画を立案する。

2 石川県の18歳人口動向について

資料1のとおり、2021（令和3）年度大学入学者県内18歳人口は10,887名（昨年比マイナス108名）（石川中央地区6,969名）であった。2021（令和3）年度の入学者数は、大学137名、短大部85名の計222名（前年比48名減）であり、昨年同様に大学はほぼ定員を満了したものの、短期大学部は厳しい結果となった。次年度以降もより一層18歳人口の減少が続くことが資料からも見て取れる。2023（令和5）年度入学者の県内18歳人口は、今年度の93.1%（マイナス755名）まで減ることが分かる。

3 石川県高校別入学者数について

資料2は、2016（平成28）年度から2021（令和3）年度の石川県内高校別定員、入学者数である。人口減に伴い定員を減少している高校が多数あり、進学校は定員を満了しているが、進路多様校は、35校中28校で定員割れが生じている。本学への進学者数の経年推移についても、減少している高校については、高校訪問時に状況を伺うなど、状況把握を行う。

4 競合他校の状況

資料3は、県内の高等教育機関のうち、本学と競合している私立大学4校、私立短期大学3校について、設置している学部及び定員充足率、取得可能資格について記した。

他大学の動きとしては、2021（令和3）年度、金沢学院大学は人間健康学部を、スポーツ科学部と栄養学部を改組し、開設した。北陸大学は、医療保健学部を2023（令和5）年度より「理学療法学科」（定員60名）を開設する。

昨年同様に、大学はほぼ、定員を充たしている状況である。一方、短期大学は定員未充足であることが分かる。

II 入学者・非入学者アンケート調査からの検証

1 入学者アンケート及び非入学者アンケート分析レポートによる結論・課題（6月作成）

キーワード：「金沢学院大学」「北陸大学」「ホームページ」「カリキュラム」「学科・コースの内容」「専願」「偏差値」

新型コロナウイルスの関係と、入学者数が昨年度比で48名減となったことにより、例年と比較検討することは難しい部分もあるが、今年度の結果として受け止め、次へ繋げる広報展開の参考としたい。

オープンキャンパスについての設問では、コロナの影響で3年次に思うように参加出来なかったことや、他大学では、対面でのオープンキャンパスを一切実施しなかった大学もあることから、比較は難しい。その中で、金沢学院大学は、非入学者アンケートでは印象が良い大学となり、進学先も一番多い結果であった。入学者、非入学者共通して、本学のオープンキャンパスより、他学のオープンキャンパスの良かったところとして「学科説明」が上がった。「学科説明」の充実について、再検討が必要である。

昨年度、新たな試みとしてWEBオープンキャンパスを実施した。WEBオープンキャンパスに関する設問を新に追加し、閲覧状況を把握した。結果、閲覧数は想像していたより低い結果となった。本学のホームページにはアクセスしているが、そこからWEBオープンキャンパスにたどり着いておらず、誘導ができていないか、興味を引けていないということが分かる。印象が良かったという他大学のWEBオープンキャンパスについては、どのような内容で展開しているか、把握及び検証を行いたい。今後の在り方も、再検討が必要である。

重要な広報ツールは、「ホームページの充実」であると感じている。大学案内（冊子）で大学情報を得るよりも、ホームページで情報を得るということが、主流となっている。特に、高校1.2年生への情報提供の有力な手段として、対象者に訴求したホームページの内容、見せ方が必要である。問「本学の大学案内を見たことがありますか」の結果も、注視していく必要がある。

非入学者アンケートの、問13「本学を受験または、入学しなかった要因」として上がった項目については、2023年度の改組のタイミングにあわせて、強みとして、また、改善策を強調して広報を行いたい。

問33で「大学案内で着目したポイント」で過去2年上位であった「就職支援・就職実績」が外れた。コロナの影響が、大学選択にどう影響したのか、把握する必要がある。

問35「大学案内についての意見」では、「キリスト教だけでは弱い」「授業を掘り下げて欲しい」という意見があった。個別意見ではあるが、次の広報展開のポイントでもあると感じている。入学者、非入学者共通して「学科・コースの内容」「カリキュラム」ということが、複数設問で上位になっており、学びの中身をより詳しく知りたいというニーズがある。改組をチャンスとして、学部の学びを、より分かり易く、興味を引く内容で伝え、2023年に向けての広報展開を検討していきたい。

コロナで、急速に広報がWEB上にシフトしたことは事実であるが、結果を受け止め、次の展開を見定める必要もあると感じた。WEBの良さ、対面の良さを活かせる工夫も必要である。

III 情報誌及びWEB資料請求数（中間報告）からの検証

資料4では、情報誌及びWEB資料請求数の中間報告を検証した。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大で、休校の影響から、430名減少したが、今年度は、昨年度比891名増という結果であった。石川県、富山県、福井県の高校別資料請求数を検証した。

IV WEBページ集客状況報告（中間報告）からの検証

資料5では、WEBページ集客状況について記した。月別アクセス状況は、昨年比96.8%であった。昨年度、本学に新型コロナウイルス感染症の罹患者が出たことにより、アクセス状況が増加した要因があった。今年度は7月に大きく増加した。

使用デバイスについては、スマートフォンからが年々増加し、73.3%という結果であった。新たに、ディスプレイ広告を導入したが、訪問者数が21,491名と、自然検索に次いで多い結果であった。

V オープンキャンパスからの検証

1 オープンキャンパスアンケート調査

資料6は、2021（令和3）年度オープンキャンパス（以下OC）アンケート（中間報告）の集計である。8月1日に予定していたOCは、本学学生が新型コロナウイルスに罹患したことにより中止、その代替として、急遽8月22日の午前開催を設定した。3密（密閉・密集・密接）を避けるため、参加人数を大学60名、短期大学部40名とし、会場を分けて実施した。アンケート結果では、昨年度低くなった、問7「OCの感想 スタッフ」では、「満足」の回答が昨年比15%増となった。学食体験が出来ない分、キャンパスツアーを少人数で実施し、スタッフと参加者が直接会話できる場を設けたことが要因と考える。

2021（令和3）年度8月末までの参加者数は、334名で、昨年比12名増であるが、2年連続して通常の半数という結果であった。

2 オープンキャンパス参加者集計表

資料7は、2021（令和3）年度OC参加者数述べ人数（グロス）と、実質人数（ネット）の最終資料である。1年生から3年生の述べ人数合計は414名で、昨年度比94.1%という結果となった。3年生の延べ人数は323名の参加であり、昨年度比94.7%であった。参加者の78%が、3年生であった。

VI 新学部設置に関する高校生アンケート調査の検証

資料8は、大学等改組に係る、新学部学科への入学意向を把握するため、高校2年生を対象としたアンケート調査結果である。アンケート回収状況は、回収校78校、回収票数8,522票であった。石川県内では、5,087票を回収しており、資料2の高校別入学者数計の10,068名中半数にあたる50.5%に対して、リーフレットの配布ができ、本学の新学部学科構想を周知できたことになる。

VII 2021（令和3）年度広報行動計画の検証（まとめ）

2021（令和3）年度の広報活動は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、未だ通常には戻っていない状況の中で、対面とWEBを使い分けての実施であった。計画で謳っていた、WEBプロモーションとしての動画作成は、進められていない。

検証結果から、これまで、石川県に重点を置いた広報エリアについては、近隣県である、富山県、福井県、新潟県、長野県へも広げていく必要がある。

昨年度は中止した、高校教員向け本学説明会（本学会場、富山会場）、学習塾向け本学説明会についてはZoomを使って、オンラインでの説明を行ったが、参加者数は23名であった。参加者が少なかったことは、課題であると感じている。

北陸学院高校（併設校）向け高大連携会議は、教員を対象に2回実施し、また、生徒対象に、5月入試対策講座（3年生対象）、10月総合型選抜・学校推薦型選抜対策講座（本学受験予定者対象）を実施した。高大連携について、北陸学院高校と情報共有を行いながら、実施している。

大学等改組に関する、高校生アンケートについては、北陸3県の高校に対し、学長、副学長、学部長、教員、事務職員が直接高校へ出向き、依頼を行ったことは、コロナ渦ではあったが、重要な訪問

であったと感じている。石川県内では殆どの高校でご協力をいただき、多くの高校2年生へ、本学の構想を周知できた。リーフレットに続く、広報展開については、引き続き様々なツールで表現し、周知徹底を図る。大学等改組（新学部学科設置）の周知に重点を置いた広報展開を、次年度の広報行動計画とし、確実な入学者の確保を目指したい。

VIII 2022（令和4）年度 広報行動計画について

1 ブランディングイメージの統一化と大学等改組（新学部学科設置）の周知

様々な広報ツールについて、継続して以下のイメージに統一化を図る。

「品があり真摯なイメージ」

さらに、新学部学科設置により、「北陸学院大学の学びが生まれ変わります」というメッセージとして、高校生アンケートの表紙に使用した「ReHGU」*1を、様々なツールで表現し、対象者に刷り込みを行い、周知徹底を図ることを狙いとする。

*1 「ReHGU」・・・改組によって「変化する」「生まれ変わる」ことは Reborn、Rebuild、Rebrandなどと表現することもできます。その頭にある「Re」単体でも「新たに」「さらに」といった意味があることから、北陸学院大学が新しく生まれ変わる＝「ReHGU」という造語をメインキャッチコピーとした案です。

2 コマーシャルメッセージの作成

これまでのコマーシャルメッセージ（以下 CM）は、本学の大学、短大部4学科の紹介と、OCの告知を加え訴求してきた。6年間続けており、卒業生が歌う企画は、本学のCMとして定着している。しかし、「北陸学院大学の学びが生まれ変わります」ということを重点的に打ち出すためには、これまでとは違ったコンセプトが必要となる。定着していたCMであったが、また、他のツールで統一して「Re」を打ち出すために、業者を変更し、制作、放映を計画する。

3 大学案内の作成

今年度より、新しい業者での企画により作成を行っている。「自分を愛する。地域を愛する。」という視点で、本学の特色ある活動を全面に打ち出し紹介を行った。

次年度は、新学部学科の紹介となり、改組の内容を、分かり易く紹介したい。リーフレットに記載した「ReHGU」を軸としたイメージでの作成としたい。

4 ホームページの活用

ホームページ（以下 HP）が重要な情報源であることは、アンケート調査や検証結果からも明確であり、広報媒体として、最も重点的に充実を図る必要がある。大学等改組の構想については、特設ページとして、2021年12月中に掲載を行い、随時更新していく。

2022（令和4）年度中に、教育学部、社会学部、健康科学部のページを作成する必要があり、改組の進捗状況と連携しながら、進めていく。また、現行の内容については、全面的に更新する必要があり、現行学部学科と、新学部学科の掲載について、精査しながら見直しを行う。

5 オープンキャンパス実施計画

資料9では、2022（令和4）年度OCの実施計画を記した。本学の校風・雰囲気を感じていただける場であるOCは重要であり、原則、対面での実施とする。コロナ渦でも安心して参加いただくための、感染防止対策を引き続き講じながら実施していきたい。

（1）実施内容の強化点、変更点

① 3学部4学科体制の周知

オープニングは、3学部合同で実施することとする。ただし、参加者人数が多くなった場合には、2会場に分けて実施する。3学部4学科での、新体制について周知を行う。

② 全体会で就職支援・実績の説明実施

アンケートで注目度が高い「就職支援・実績」については、全体会で本学の取り組み等を説明し、全参加者に聞いていただけるプログラムとする。

③ 模擬授業及び、個別相談の時間配分

学食体験は、次年度も引き続き中止とする。そのため、OCの実施時間は、2時間とタイトな中、より充実した内容とするため、これまで模擬授業を50分で実施していたが、35分としたい。新学部学科説明を15分とし、合わせて50分を各学部で使用し、学部説明と、興味を引く内容での模擬授業を行っていただきたい。

個別相談は、バス出発後に設置することで、時間に余裕を持って相談できる体制とする。参加者へ事前にプログラムをお知らせし、個別相談希望者の対応を行いたい。

④ 新型コロナウイルス対策に伴う、人数制限

人数制限は設けず、感染対策を徹底して実施する。ただし、全国的な感染状況を常に注視し、必要に応じて、人数制限を設定すること、開催を中止・延期することとする。

（2）目標値

2022（令和4）年度OC参加者目標数を下記の人数とする。2023年度入試募集定員（230名）

延べ人数（グロス） 757名

3年生延べ人数（グロス）510名

6 進学相談会

資料10は、2021（令和3）年度の進学相談会実施一覧である。石川県、富山県、福井県、岐阜県で開催される、民間業者が主催する進学相談会への参加は、高校生に直接触れ合い、本学を紹介する重要な機会であり、興味関心を持ってもらい、OCへの参加、HPへの誘導を行い、受験につながるアプローチとしたい。

2022（令和4）年度は、入試会場としている、新潟県、長野県での進学相談会の参加も検討している。

7 高校別 アプローチ年間訪問計画

資料 11 では、2022（令和 4）年度の高校訪問計画を記した。石川県、富山県、福井県の高校及び入試会場としている新潟県、長野県の高校に対し訪問を計画している。新学部設置の進捗状況により、訪問目的、持参物等を変える必要があり、丁寧に訪問を行いたい。直接、進路指導教員へ本学の教育情報を説明できる重要な機会として、また、継続的に訪問を行い、信頼関係の構築を図りたい。

8 高校教員及び塾講師向け本学説明会

今年度はオンラインで実施したが、参加者が少ない現状を受け、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、対面での実施としたい。富山県は、管理栄養士養成校が無いため、健康科学部へのニーズは高く、例年通り本学会場及び、富山会場の 2 会場で実施する。また、当日の欠席者及び、遠方の高校、塾講師向けとして、WEB での説明会を配信し、幅広く説明を聞いていただける機会とする。

地区別高校教員向け本学説明会 日程（案）

- 1) 富山会場 2022 年 6 月 14 日（火）
- 2) 本学会場 2022 年 6 月 16 日（木）

北陸学院高校（併設校）は、個別に予め双方で開催日を定め、保護者説明会、連携会議を実施する。今年度同様に、生徒説明会の実施も、検討する。

北陸学院高校（併設校）向け高大連携会議 日程（案） 日時は調整中

- 1) 1 学年保護者向け 2022 年 4 月
- 2) 3 学年担任向け 2022 年 6 月
- 3) 2 学年担任向け 2023 年 2 月

9 2023（令和 5）年度入学者選抜制度の周知及び実施

2022（令和 4）年度に実施される入学者選抜制度については、総合型選抜の内容変更及び、一般選抜（一般制、大学入学共通テスト利用制）についても、科目の変更が決定している。改組に伴う各学部のスケジュールを確認しながら、申請、認可の進捗状況により、募集活動を行う必要がある。PR 活動と募集活動をしっかり理解したうえで、スムーズな実施に向け取り組む。

以上

北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関する
アンケート調査結果

報 告 書

令和3年11月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

I アンケート調査概要	1
II アンケート集計結果	2
III 新学部採用意向	9
アンケート調査票	10

I アンケート調査概要

1. アンケート調査の目的

北陸学院大学では、令和 5 年 4 月に向けて「健康科学部 栄養学科」（仮称）設置の構想をしており、新学部卒業生の採用意向を把握するために、事業所を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査

3. 調査対象

主に北陸地域（石川県、富山県、福井県）に所在する事業所を選定し、アンケート調査を実施した。

4. 調査実施時期

令和 3 年 8 月～10 月に調査を実施した。

5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布を大学が行い、郵送による回収を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

回収票数 90 票

回収日	ナンバリング	件数	累計
8.30	1	5	5
8.31	6	11	11
9.02	12	13	13
9.03	14	14	14
9.06	15	26	26
9.07	27	29	29
9.09	30	30	30
9.13	31	76	76
9.16	77	77	77
9.17	78	78	78
9.21	79	79	79
9.27	80	89	89
10.08	90	90	90

Ⅱ アンケート集計結果

「北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査」有効回答：90 票

問1-① 貴事業所の「本社・本部・本店の所在地」について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

回答事業所の所在地は、「石川県」が68.9%（62件）で最も多く、約7割は石川県内の事業所が占めている。このほか、「東京都」12.2%（11件）、「富山県」11.1%（10件）、「福井県」3.3%（3件）、「愛知県」と「大阪府」がともに2.2%（2件）となっている。

	件数	%		件数	%
1 北海道	0	0.0	25 滋賀県	0	0.0
2 青森県	0	0.0	26 京都府	0	0.0
3 岩手県	0	0.0	27 大阪府	2	2.2
4 宮城県	0	0.0	28 兵庫県	0	0.0
5 秋田県	0	0.0	29 奈良県	0	0.0
6 山形県	0	0.0	30 和歌山県	0	0.0
7 福島県	0	0.0	31 鳥取県	0	0.0
8 茨城県	0	0.0	32 島根県	0	0.0
9 栃木県	0	0.0	33 岡山県	0	0.0
10 群馬県	0	0.0	34 広島県	0	0.0
11 埼玉県	0	0.0	35 山口県	0	0.0
12 千葉県	0	0.0	36 徳島県	0	0.0
13 東京都	11	12.2	37 香川県	0	0.0
14 神奈川県	0	0.0	38 愛媛県	0	0.0
15 新潟県	0	0.0	39 高知県	0	0.0
16 富山県	10	11.1	40 福岡県	0	0.0
17 石川県	62	68.9	41 佐賀県	0	0.0
18 福井県	3	3.3	42 長崎県	0	0.0
19 山梨県	0	0.0	43 熊本県	0	0.0
20 長野県	0	0.0	44 大分県	0	0.0
21 岐阜県	0	0.0	45 宮崎県	0	0.0
22 静岡県	0	0.0	46 鹿児島県	0	0.0
23 愛知県	2	2.2	47 沖縄県	0	0.0
24 三重県	0	0.0	合計	90	100.0

問1-② 採用地について、チェック☑を入れてください。(複数回答)

回答事業所の職員の採用地については、「石川県」が 82.2% (74 件) で最も多く、次いで「富山県」35.6% (32 件)、「福井県」23.3% (21 件)、「北陸三県以外」18.9% (17 件) であり、石川県を中心に北陸三県において職員を採用している事業所が多い。

	件数	%
1 石川県	74	82.2
2 富山県	32	35.6
3 福井県	21	23.3
4 北陸三県以外	17	18.9
不 明	2	2.2
合 計	90	100.0

※複数回答により合計は 100%にならない

問2 貴事業所の主たる業種は何ですか。

回答事業所の主たる業種は、「福祉・介護施設」が 27.8% (25 件) で最も多く、次いで「病院・診療所」13.3% (12 件)、「給食会社」12.2% (11 件)、「食品関連企業」と「その他の卸売・小売業」がともに 11.1% (10 件)、「その他のサービス業」8.9% (8 件) となっている。

	件数	%
1 病院・診療所	12	13.3
2 福祉・介護施設	25	27.8
3 給食会社	11	12.2
4 食品関連企業	10	11.1
5 保育所・幼稚園・こども園	0	0.0
6 医薬品関連企業	0	0.0
7 その他の卸売・小売業	10	11.1
8 その他のサービス業	8	8.9
9 農業・林業	0	0.0
10 その他	12	13.3
不 明	2	2.2
合 計	90	100.0

(「10 その他」の回答)

- ・ 労働者派遣業、警備事業、指定障害児通所支援事業
- ・ 児童養護施設、児童家庭支援センター
- ・ 社会福祉協議会居宅介護支援事業所
- ・ 農業保険業
- ・ 委託給食
- ・ 委託給食
- ・ ホテル運営
- ・ 協同組合
- ・ 飲食業
- ・ 総合サービス業

問3 貴事業所における管理栄養士及び栄養士の人数（非正規職員含む）について、ご記入ください。

回答事業所における管理栄養士及び栄養士の人数をみると、管理栄養士が1人もいないのは26.7%（24件）であり、65.6%（59件）は管理栄養士を配置している。管理栄養士を配置している事業所の配置人数については、「1人」が13.3%（12件）で最も多く、次いで「2人」と「3人」がともに7.8%（7件）で続いており、比較的少数の事業所が多いが、一方で50人以上を配置している事業所も12.2%（11件）を占めている。

栄養士については、1人もいないのは27.8%（25件）であり、56.7%（51件）は栄養士を配置している。栄養士を配置している事業所の配置人数については、「1人」が18.9%（17件）で最も多く、次いで「2人」5.6%（5件）、「4人」4.4%（4件）が続いており、管理栄養士と同様、比較的少数の事業所が多いが、一方で50人以上を配置している事業所も13.3%（12件）を占めている。

管理栄養士					
職員数	件数	%	職員数	件数	%
0人	24	26.7	43人	1	1.1
1人	12	13.3	46人	1	1.1
2人	7	7.8	56人	3	3.3
3人	7	7.8	100人	1	1.1
4人	4	4.4	184人	1	1.1
5人	4	4.4	295人	1	1.1
6人	5	5.6	361人	1	1.1
7人	2	2.2	500人	1	1.1
10人	2	2.2	1000人	1	1.1
20人	1	1.1	1300人	2	2.2
25人	1	1.1	不明	7	7.8
40人	1	1.1	合計	90	100.0

栄養士					
職員数	件数	%	職員数	件数	%
0人	25	27.8	20人	1	1.1
1人	17	18.9	62人	1	1.1
2人	5	5.6	121人	3	3.3
3人	2	2.2	183人	1	1.1
4人	4	4.4	274人	1	1.1
5人	1	1.1	380人	1	1.1
6人	1	1.1	492人	1	1.1
7人	1	1.1	855人	1	1.1
10人	1	1.1	1000人	1	1.1
12人	3	3.3	1700人	2	2.2
13人	1	1.1	不明	14	15.6
15人	1	1.1	合計	90	100.0
18人	1	1.1			

問4 貴事業所では、北陸学院大学健康科学部栄養学科の卒業生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。

健康科学部栄養学科の卒業生の採用について、「採用したい」と回答したのは43.3%（39件）であり、「採用を検討したい」は33.3%（30件）であることから、これらを合計すると、採用に関心を示す事業所が76.6%（69件）と4分の3以上を占めている。

	件数	%
1 採用したい	39	43.3
2 採用を検討したい	30	33.3
3 採用は考えない	14	15.6
4 その他	7	7.8
合計	90	100.0

（「4 その他」の回答）

- ・ 居宅介護支援事業所としては、必要な資格ではないから。
- ・ 欠員が出た場合検討。
- ・ 状況に応じて。
- ・ 応募採用試験の合格者を採用する。
- ・ 現状としては充足している為、今後採用が必要となれば検討。
- ・ 状況しだい。
- ・ 調理師（和食、洋食、パティシエ）希望の学生については採用を検討したい。

問5 問4で「1 採用したい」もしくは「2 採用を検討したい」を回答された方にお聞きします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用が想定されますか。

問4で、健康科学部栄養学科の卒業生を「採用したい」もしくは「採用を検討したい」と回答した事業所について、毎年の採用想定人数を尋ねたところ、「1人」が39.1%（27件）で最も多く、次いで「2～3人」18.8%（13件）、「4～5人」11.6%（8件）となっている。

「採用したい」と回答した事業所についてみると、「1人」が28.2%（11件）で最も多く、次いで「2～3人」25.6%（10件）、「4～5人」17.9%（7件）となっている。また、「10人以上」との回答も12.8%（5件）ある。

「採用を検討したい」と回答した事業所については、「1人」が53.3%（16件）で最も多く、次いで「わからない」が33.3%（10件）となっている。

【全体】

	全 体	
	件数	%
1 1人	27	39.1
2 2～3人	13	18.8
3 4～5人	8	11.6
4 6～7人	4	5.8
5 8～9人	0	0.0
6 10人以上	5	7.2
7 わからない	12	17.4
合 計	69	100.0

【「採用したい」・「採用を検討したい」別回答】

	採用したい		採用を検討したい	
	件数	%	件数	%
1 1人	11	28.2	16	53.3
2 2～3人	10	25.6	3	10.0
3 4～5人	7	17.9	1	3.3
4 6～7人	4	10.3	0	0.0
5 8～9人	0	0.0	0	0.0
6 10人以上	5	12.8	0	0.0
7 わからない	2	5.1	10	33.3
合 計	39	100.0	30	100.0

問6 北陸学院大学健康科学部栄養学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

自由回答意見
栄養士（事務的）他調理等に関わる人材であれば尚良い。状況に応じた対応ができる人材。
健康科学部栄養学科生向けに会社説明ができるような場を是非教育プログラムの中に入れていただきたいです。
健康・栄養学を学ぶ上で「食」には強い興味を持つ人に育てて欲しいと思っております。人は摂取した食べ物（栄養）からしか生きる力を得られませんので（当たり前ですが）、普段の何気ない食事にも関心を持てる人間に育つ事で、本当の意味で健康科学部を学ぶ人材となれるのではと期待しております。Ex…コンビニにおいてある常温保存の焼きそばパン、何故くさらない？自分で作って放置したらくさるのに・・・等々。
多くの卒業生を採用させていただき、ありがとうございます。引き続き、積極的な採用を計画しております。宜しく願います。
子供達にとって食育はとても重要だと考えております。食育をすすめられる人材の育成に期待しています。
今後栄養士の立場は重要となってきているので、有為な人材を求めます。
本年度より北陸エリアの採用担当に着任しておりますが、貴校の学生様はどの方も大変ご優秀であり本年度の採用において北陸エリアの大半を貴校学生様に内定出しをさせていただきました。選考で残念な結果になってしまった学生様も貴校の学生様に先に内定出しをしていることが理由となっております。今後ともご縁をいただければ幸いです。
仁愛大学からの採用もある為、全員とはいきませんが、第一期生から毎年採用させて頂きたいと思えます。
地元の大学となりますので、ぜひ第一期生から採用させて頂きたいと思えます。管理栄養士の仲間が増える事を嬉しく思えます。
栄養士よりも管理栄養士を目指す学生も増えていきますので、良い取組みだと思います。ぜひ第一期生の採用をさせて頂きたいと思えます。
北陸3県以外にも全国で活躍出来る事業所が2300ヶ所ございますので、ぜひ第一期生からの採用を希望します。
いつもお世話になっております。御校の卒業生の方々にはいつもがんばって頂いて、感謝しています。もし要望としてあげさせていただくとすれば、当社に対して何か率直な意見等頂ければと思います。御校からご相談やお願い事があるときや当社からご相談やお願い事がある時に気軽にご相談やご協力できる関係を続けていけたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。※応募の方ですが、北陸三県以外の方は本社にて対応可能ですのでご連絡ください。
いつもお世話になっております。御校の卒業生の方々にはいつもがんばって頂いて、感謝しています。もし要望としてあげさせていただくとすれば、当社に対して何か率直な意見等頂ければと思います。御校からご相談やお願い事があるときや当社からご相談やお願い事がある時に気軽にご相談やご協力できる関係を続けていけたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。※応募の方ですが、北陸三県以外の方は本社にて対応可能ですのでご連絡ください。
いつもお世話になっております。御校の卒業生の方々にはいつもがんばって頂いて、感謝しています。もし要望としてあげさせていただくとすれば、当社に対して何か率直な意見等頂ければと思います。御校からご相談やお願い事があるときや当社からご相談やお願い事がある時に気軽にご相談やご協力できる関係を続けていけ

自由回答意見

たらと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。※応募の方ですが、北陸三県以外の方は本社にて対応可能ですのでご連絡ください。

石川県の管理栄養士の数を増やし、管理栄養士の地位向上に貢献していただけると嬉しいです。

問5については北陸のみでの人数となります。全国となりますと10人以上の採用となりますのでよろしくお願いいたします。

経営全般を学べ、商品開発に携わることも可能です。栄養に詳しい人材もこれからの弊社に必要と考えます。

短期大学の食物栄養学科はどうするのか？金沢学院大学の4年生のⅠ期生は大変優秀でした。Ⅱ期以降は少しレベルが落ちました。そうならない様お願いします。

給食委託の内製化に伴い4月に調理師の採用を検討しております。是非ともご紹介頂きたいです。

Ⅲ 新学部採用意向

健康科学部栄養学科の卒業生を「採用したい」と回答した事業所の採用想定人数の回答結果から毎年の採用想定人数を算定すると、採用想定人数は少なくとも毎年 133 人となる。「採用したい」という採用に強い意向を持つ事業所だけでも、毎年の卒業生（67 人）のほぼ 2 倍の採用意向があることになる。

また、同様に、「採用を検討したい」と回答した事業所の採用想定人数の回答結果から毎年の採用想定人数を算定すると 26 人となる。「採用を検討したい」という採用の可能性を示す事業所においても、卒業生の採用を希望する事業所が出てくる可能性があることから、健康科学部栄養学科卒業生に対して十分な採用意向があると考えられる。

【設定】		【採用したい】			【採用を検討したい】	
問 5 選択肢	採用想定 人数	問 5 件数	採用想定 人数	問 5 件数	採用想定 人数	
1 1 人	⇒ 1 人	11	11 人	16	16 人	
2 2~3 人	⇒ 2 人	10	20 人	3	6 人	
3 4~5 人	⇒ 4 人	7	28 人	1	4 人	
4 6~7 人	⇒ 6 人	4	24 人	0	0 人	
5 8~9 人	⇒ 8 人	0	0 人	0	0 人	
6 10 人以上	⇒ 10 人	5	50 人	0	0 人	
—		合計	133 人	合計	26 人	

北陸学院大学における健康科学部栄養学科設置に関するアンケート調査票

北陸学院大学では、新たに「健康科学部 栄養学科」(仮称)の設置を構想しております。このたび、採用ご担当者の皆様からご意見をお聞きし、学部学科設置の参考にさせていただきたく、アンケート調査を実施することとなりました。

このアンケート調査は、事業所の皆様の本学卒業生の採用意向等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、個の調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用したりすることはありません。

新大学の内容等につきましては、同封のリーフレットをご覧ください。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

北陸学院大学健康科学部栄養学科(設置構想中)の概要※いずれも予定であり変更する可能性があります。

【入学定員】 65名(3年次編入学定員2名)

【開設時期】 2023年(令和5年)4月

※第1期生は2027年(令和9年)3月に卒業予定です。

【所在地】 石川県金沢市三小牛町イ11番地(JR金沢駅より路線バスで約30分。)

【回答欄】

問1-① 貴事業所の「本社・本部・本店の所在地」について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

1 北海道	2 青森県	3 岩手県	4 宮城県	5 秋田県	6 山形県	7 福島県
8 茨城県	9 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県	13 東京都	14 神奈川県
15 新潟県	16 富山県	17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県	
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県			
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県	29 奈良県	30 和歌山県	
31 鳥取県	32 島根県	33 岡山県	34 広島県	35 山口県		
36 徳島県	37 香川県	38 愛媛県	39 高知県			
40 福岡県	41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県	45 宮崎県	
46 鹿児島県	47 沖縄県					

本社・本部・本店の所在地

問1-② 採用地について、チェック☑を入れてください。

- 北陸三県〔 石川県 富山県 福井県 〕
北陸三県以外

問2 貴事業所の主たる業種は何ですか。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 病院・診療所 | 6 医薬品関連企業 |
| 2 福祉・介護施設 | 7 その他の卸売・小売業 |
| 3 給食会社 | 8 その他のサービス業 |
| 4 食品関連企業 | 9 農業・林業 |
| 5 保育所・幼稚園・こども園 | 10 その他(具体的に) |

(裏面に続く)

問3 貴事業所における管理栄養士及び栄養士の人数（非正規職員含む）について、ご記入ください。

管理栄養士	<input type="text"/>	人	栄養士	<input type="text"/>	人
-------	----------------------	---	-----	----------------------	---

問4 貴事業所では、北陸学院大学健康科学部栄養学科の卒業生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つお選びください。

- 1 採用したい
 - 2 採用を検討したい
 - 3 採用は考えない
 - 4 その他（具体的に)
-

問5 問4で「1 採用したい」もしくは「2 採用を検討したい」と回答された方にお聞きします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用が想定されますか。該当する番号を1つお選びください。

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 1人 | 4 6～7人 | 7 わからない |
| 2 2～3人 | 5 8～9人 | |
| 3 4～5人 | 6 10人以上 | |
-

問6 北陸学院大学健康科学部栄養学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***